

1 次の空欄を埋めよ。

$$(1) \cos 15^\circ = \cos 60^\circ \cos 45^\circ + \sin 60^\circ \sin 45^\circ = \frac{\sqrt{2} + \sqrt{6}}{4}$$

$$(2) \cos^2 15^\circ = \frac{1 + \cos 30^\circ}{2} = \frac{2 + \sqrt{3}}{4}$$

$$\cos 15^\circ > 0 \text{ ゆえ、} \cos 15^\circ = \frac{2 + \sqrt{3}}{2}$$

(3) $\sin(\theta + 30^\circ) = \frac{\sqrt{2}}{2}$ ($0^\circ \leq \theta < 360^\circ$) を解く。

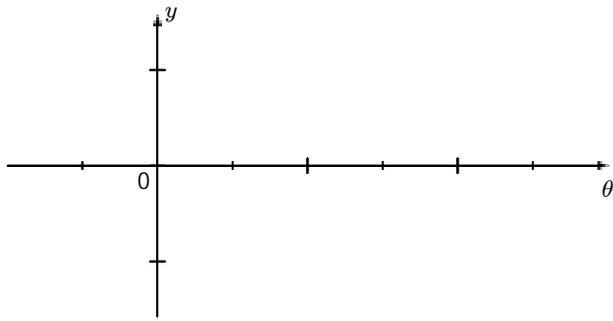
$x = \theta + 30^\circ$ とおくと、 $30^\circ \leq x < 390^\circ$ でかつ $\sin x = \frac{\sqrt{2}}{2}$. これを解くと、 $x = 45^\circ, 135^\circ$. よって、 $\theta = 15^\circ, 105^\circ$

(4) 不等式 $\cos \theta < \frac{1}{2}$ ($0^\circ \leq \theta < 360^\circ$) の解は、 $60^\circ < \theta < 300^\circ$

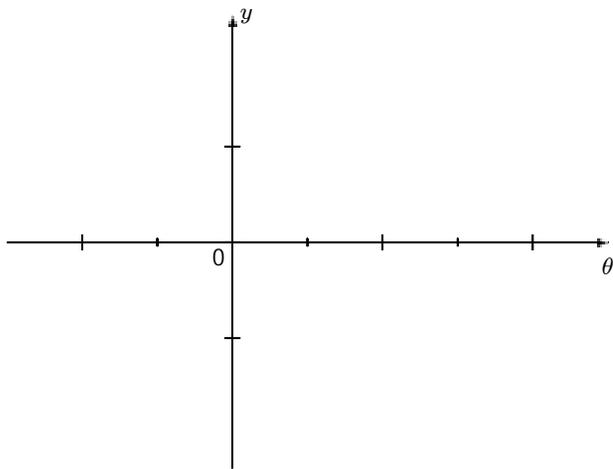
(5) α, β が鋭角で、 $\tan \alpha = 2, \tan \beta = 3$ のとき、 $\tan(\alpha + \beta) = -1$ で、 $0^\circ < \alpha + \beta < 180^\circ$ だから $\alpha + \beta = 135^\circ$

2 次の関数のグラフをかけ。また、周期を求めよ。(2) は、漸近線の方程式もすべて求めよ。

(1) $y = \sin 2\theta$ 周期は 180°

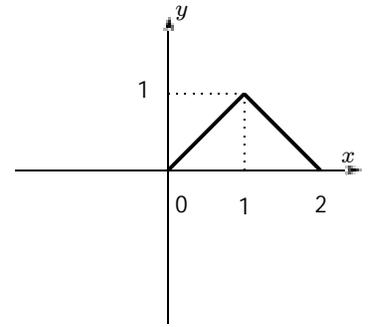
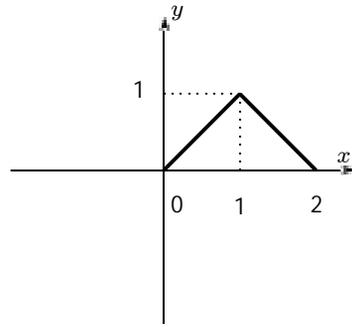


(2) $y = \tan \theta$ 周期は 180°
漸近線は $\theta = 90^\circ + 180^\circ \times n$ (n は整数)

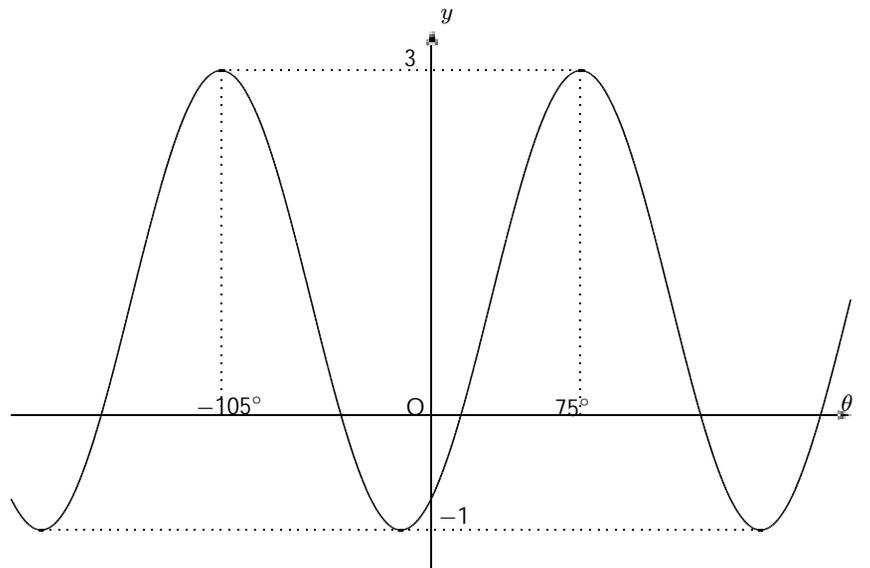


3 次の問に答えよ。また空欄に適当な数を入れよ。

(1) 次のグラフが奇関数のグラフと (2) 次のグラフが、周期 2 の関数のなるように $-2 \leq x \leq 0$ の部分を グラフとなるように $-2 \leq x \leq 0$ の部分を描け。



(3) 下は $y = A \sin(B\theta - C) + D$ のグラフである。最大値は **ア** で最小値は **イ**、最大値と最小値の平均は **ウ** ゆえ、 $A =$ **エ**, $D =$ **オ**. 周期は **カ** ゆえ、 $B =$ **キ**. また、 $C =$ **ク** となる。ただし、 A, B, C は正の数 (角) とし、可能な値が複数ある場合は、最小の値とする。



ア **3** イ **-1** ウ **1** エ **2**
オ **1** カ **180°** キ **2** ク **30°**

4 α, β をともに第 1 象限の角とする。 $\sin \alpha = \frac{3}{5}, \cos \beta = \frac{1}{2}$ であるとき、 $\sin(\alpha + \beta)$ の値を求めよ。

- 解答例 -

$$0^\circ < \alpha < 90^\circ \text{ ゆえ、} \cos \alpha = \frac{\sqrt{1 - \sin^2 \alpha}}{\sin} = \frac{\sqrt{1 - \frac{9}{25}}}{\frac{3}{5}} = \frac{4}{5}$$

$$0^\circ < \beta < 90^\circ \text{ ゆえ、} \sin \beta = \frac{\sqrt{1 - \cos^2 \beta}}{\cos} = \frac{\sqrt{1 - \frac{1}{4}}}{\frac{1}{2}} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

よって、

$$\sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta = \frac{3}{5} \times \frac{1}{2} + \frac{4}{5} \times \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{3 + 4\sqrt{3}}{10}$$

その 1

5 直線 $y = 2x$ と直線 $y = \frac{1}{3}x$ のなす角 θ を求めよ。ただし $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ とする。

— 解答例—

直線 $y = 2x$, $y = \frac{1}{3}x$ が x 軸の正の向きとなす角をそれぞれ θ_1, θ_2 とおくと、図(省略)より

$$\theta = \theta_1 - \theta_2, \tan \theta_1 = 2, \tan \theta_2 = \frac{1}{3}.$$

$$\tan \theta = \tan(\theta_1 - \theta_2) = \frac{\tan \theta_1 - \tan \theta_2}{1 + \tan \theta_1 \tan \theta_2} = \frac{2 - \frac{1}{3}}{1 + \frac{2}{3}} = 1.$$

$0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ ゆえ、 $\theta = 45^\circ$.

6 $0^\circ \leq \theta < 360^\circ$ のとき、次の不等式を解け。

(1) $\sin 2\theta = \sqrt{3} \sin \theta$

— 解答例—

倍角公式から、

$$\begin{aligned} 2 \sin \theta \cos \theta &= \sqrt{3} \sin \theta \\ \sin \theta (2 \cos \theta - \sqrt{3}) &= 0 \end{aligned}$$

$$\therefore \sin \theta = 0 \text{ または } \cos \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}.$$

$0^\circ \leq \theta < 360^\circ$ ゆえ、 $\theta = 0^\circ, 180^\circ, 30^\circ, 330^\circ$.

(2) $\sqrt{2} \sin(2\theta - 60^\circ) > 1$

— 解答例—

$2\theta - 60^\circ = X$ とおくと、与式は、

$$\sin X > \frac{\sqrt{2}}{2} \quad (-60^\circ \leq X < 660^\circ) \text{ となる.}$$

図(省略)より、これを解くと、

$$45^\circ < X < 135^\circ, 405^\circ < X < 495^\circ.$$

よって、

$$\frac{105^\circ}{2} < \theta < \frac{195^\circ}{2}, \frac{465^\circ}{2} < \theta < \frac{555^\circ}{2}.$$

7 $0^\circ \leq \theta < 360^\circ$ のとき、関数 $y = \cos 2\theta + 2 \sin \theta + 1$ の最大値、最小値を求めよ。また、そのときの θ の値も求めよ。

— 解答例—

倍角公式より

$$y = 1 - 2 \sin^2 \theta + 2 \sin \theta + 1 = \dots = -2 \sin^2 \theta + 2 \sin \theta + \frac{5}{2}$$

グラフ(省略)より

$$\text{最大値 } \frac{5}{2} \quad \sin \theta = \frac{1}{2}$$

$$\text{最小値 } -2 \quad (\sin \theta = -1)$$

$0^\circ \leq \theta < 360^\circ$ ゆえ、

$$\sin \theta = -1 \text{ を解くと、} \theta = 270^\circ.$$

$$\sin \theta = \frac{1}{2} \text{ を解くと、} \theta = 30^\circ, 150^\circ.$$

よって、最大値 $\frac{5}{2}$ ($\theta = 30^\circ, 150^\circ$), 最小値 -2 ($\theta = 270^\circ$)

8 連立方程式 $\begin{cases} \sin 2x + \cos y = 1 \\ \sin y + \cos 2x = 1 \end{cases}$ ($0^\circ \leq x, y < 360^\circ$) を解け。

— 解答例—

与式を平方すると、

$$\sin^2 2x + 2 \sin x \cos y + \cos^2 y = 1$$

$$\sin^2 y + 2 \sin y \cos 2x + \cos^2 2x = 1$$

辺々加えて

$$2(\sin 2x \cos y + \sin y \cos 2x) = 0. \text{ よって、} \sin(2x + y) = 0.$$

これを解いて、 $2x + y = 360^\circ \times n$ または $180^\circ + 360^\circ \times n$ (n は整数)

$2x + y = 360^\circ$ のとき、与式に代入すると

$$\sin(-y) + \cos y = 1, \sin y + \cos(-y) = 1.$$

これから、 $\sin y = 0, \cos y = 1$ となる。 $0^\circ \leq y < 360^\circ$ ゆえ、 $y = 0^\circ$.

与式に代入し、 $\sin 2x = 0, \cos 2x = 1$. $0^\circ \leq 2x < 720^\circ$ ゆえ、 $x = 0^\circ, 180^\circ$.

$2x + y = 180^\circ + 360^\circ$ のとき、与式に代入すると

$$\sin(-y + 180^\circ) + \cos y = 1, \sin y + \cos(-y + 180^\circ) = 1.$$

よって、 $\sin y + \cos y = 1, \sin y - \cos y = 1$.

これを解くと、 $\sin y = 1, \cos y = 0$. $0^\circ \leq y < 360^\circ$ ゆえ、 $y = 90^\circ$.

与式に代入し、 $\sin 2x = 1, \cos 2x = 0$. $0^\circ \leq 2x < 720^\circ$ ゆえ、 $x = 45^\circ, 225^\circ$.

まとめて、 $(x, y) = (0^\circ, 0^\circ), (180^\circ, 0^\circ), (45^\circ, 90^\circ), (225^\circ, 90^\circ)$.

【別解】 $(1 - \sin 2x)^2 + (1 - \cos 2x)^2 = 1$ からはじめると、 $\sin 4x = 0$ を得る。

	合計点
その 2	